

PROFILE

巨理町 企画財政課 企画班

こやま ゆうじ

小山 祐史 さん

愛知県岡崎市より巨理町に派遣

the 応援職員

NOW IS.

岩沼・巨理

Iwanuma・Watarai



わたり温泉鳥の海からの鳥の海灣の景色。奥には美しい蔵王連峰が望める。



巨理発祥の「はらこめし」。全国の人に知ってほしい郷土の味。



巨理町の魅力を全国の人に知ってほしい

「物産展で『はらこめし』のPRをした時、多くの方に『おいしい』『うまい』ともうけるので、自分のことのようにうれしくなりました」と笑顔で話す小山さんは、愛知県岡崎市出身。入庁した時から復興の手助けをしたいと思っていました。市のサッカー部に所属し、巨理町役場サッカー部との交流があり、より想いは強まりました。そして願いが叶い、2018年4月から巨理町に派遣され、企画財政課に所属しています。

企画財政課では、巨理町の地方創生事業や広報わたりの制作などの業務を担当しています。地方創生事業では、特に郷土料理「はらこめし」を全国にPRしようと、昨年度から「もっとはらこめし」とはらこめし推進事業」が進められています。物産展などのイベント出店やパブリシティ強化、町内のスタンプラリー企画のほか、「はらこめし教室」を開き、町内でも魅力を再認識してもらい、地産地消の推進も図っています。

小山さんに「はらこめし」の魅力を聞くと、「ふっくらしたサケはもちろんおいしいのですが、サケの身を煮た旨味のある煮汁で米を炊いているので、ごはんだけで何杯も食べられます。はらこ(イクラ)が味わい深いのは、サケの煮汁にさっと通しているから。これは地元のお母さんたちが教えてくれました」と、うれしそうに話します。統計では、はらこめし目当ての観光客は増えているそうです。「ほかに

もいちごにアセロラ、わたり温泉鳥の海、巨理伊達家の史跡など、巨理の魅力を多くの人に知ってもらいたいですね。」

「復興計画は2020年までのため、岡崎市からの派遣はいずれ終わります。でも、今後何かしら力になりたいですし、巨理町との関係は続けていきたいです。その架け橋になればと思います。近年、南海トラフ地震の懸念が高まっています。が、職員のみなさんは『岡崎市に何かあったら一番に駆けつける』と言ってくださいます。お互いに助け合い、まちを盛り上げていけたらと思っています。」

info/area

{エリア情報} 復興や防災にまつわるニュースをお伝えします

東日本大震災 岩沼市追悼イベント(仮称)

震災の記憶を永遠に語り継ぎ、犠牲者へ祈りを届けるため、岩沼市相野釜公園に灯籠で明かりを灯します。
 日時:2019年3月10日(日) 17:30~20:00(予定)
 ●場所:千年希望の丘相野釜公園 ※天候により中止となる場合があります。
 ☎0223-22-1111(岩沼市総務課)



みずみずしい「いちご」をぜひ味わってみて!

東北一の生産量を誇る“わたりのいちご”。町内2カ所の観光いちご園で、いちご狩りが2019年1月13日からスタートします。たわわに実った真っ赤ないちごをぜひ食べに来てください。

- JAみやぎ巨理吉田観光いちご園
☎電話0223-34-9471
- いちごランドこうちゃん園
☎電話0223-34-4571

※詳細は「巨理町観光協会」HPでご覧いただけます。
<http://www.datenawatari.jp/publics/index/78/>

今月のガイド

MONTHLY GUIDE



旬魚・鮭の店 あら浜 店主

つかべ ひさよし
塚部 久芳 さん



「生かさせてもらった分、何をすべきか。そう話すのは巨理町で長年愛されている『旬魚・鮭の店』あら浜の店主、塚部さんです。

かつて漁師だった塚部さんは25年前、巨理町に店を構えました。津波で店を流しますが震災からわずか半年後の2011年10月には、仙台で新たな店をオープンします。いつか巨理町に戻るといふ気持ちを持ち続け、震災から5年5カ月ぶりに巨理町で店を再建しました。現在、仙台のお店は二男の慶人さんが切り盛りしています。

「先人たちが築き上げてきたはらこめしを含め、巨理町の魅力を伝える発信地になれば、巨理に賑わいを取り戻したいです」と話してくれました。